

議 事 録

会議名	令和８年度 第２回 福岡市地域公共交通会議
日時	令和８年９月３０日(水) １５時 ００分～１５時 ３０分
会場	エルガーラホール ７階 会議室 １
議事概要	議題１ 県バス対策協議会への申出内容の検討状況について ・茶山線、屋形原線、脇山支線の対応 ・脇山支線（椎原系統）の運行内容の見直し
発言者	発言要旨
事務局	●令和８年度第２回福岡市地域公共交通会議を開会する。 <委員紹介> ●会長を除き委員６名に出席いただいております、福岡市地域公共交通会議規則第６条第３項に基づき、本会議は成立した。 福岡市情報公開条例等に基づき、会議は原則公開としており、議事録については、後日、福岡市のホームページに掲載する。 本日は傍聴の申し出なし。 議事の進行については、福岡市地域公共交通会議規則第６条第２項に基づき、会長にお願いする。
会長	○それでは、議題１について、事務局より説明をお願いします。
事務局	●議題１ 県バス対策協議会への申出内容の検討状況について <説明>
会長	○ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等はあるか。
委員	○脇山支線（椎原系統）の代替交通検討に際して、沿線住民にアンケート調査を実施したとのことだが、回答対象者の年齢を絞るなどしたのか。資料上通勤利用が２４％となっているが、通学利用者もいると考えるが。
事務局	●回答対象者の年齢を絞ることは行っていない。アンケート手法として、紙のアンケート用紙を全世帯に配るとともに、他にも二次元コードを用いたWEBでの調査も実施しており、幅広い年齢層から回答いただいている。 結果として、高齢者の方からの回答が多くなってはいるが、通学に利用している１０代の方やその保護者の方からの回答もいただいている。

委員	○運行車両について、小型化を図るとされているが、具体的な定員数は何名から何名に変更となるのか。また、一部時間帯では多くのご利用があるが、積み残しの可能性やその対応はどう考えているのか。
事務局	●定員数については、中型バスの55人乗りから、ジャンボタクシーは乗客定員9人となる。ご指摘の通り積み残しの可能性もあると考えているため、公募の際に事業者からの提案として求めていきたいと考えている。
委員	○公募の際に、積み残し対応についても条件に入れて要件を検討するというとか。朝夕の時間帯のため、積み残しが発生すると利用者が困ると考えられるため、しっかりと対応いただきたい。
事務局	●承知した。
会長	○その他、意見はないか。
会長	○茶山線、屋形原線については地域にも説明を行い、廃止はやむを得ないのではないかと、という意見であったとのこと。一方で、脇山支線については、地域として廃止は納得しかねる、との意見であり、市に対しても対応を求める、というご意見もあっている。その対応方法案として、条例に基づき休廃止対策を行う路線として、代替交通の確保に向けた方向性について事務局から示されているが、この進め方について何か意見はないか伺っているものであるが、このような方向で進めてよろしいか。 (委員から意見なし)
会長	○引き続き、事務局において検討いただくとともに、県バス対策協議会から意見を求められているため、令和9年1月頃の地域公共交通会議にて、当会議としての回答を改めて付議させていただき、議決を諮るものと考えている。
会長	○以上で議事については終了し、進行を事務局にお返しする。
事務局	●議事録については会議資料とともに公開するため、委員の皆様には後日議事録の確認をお願いする。 ●本日の会議は以上で閉会する。